



▲間伐がされておらず暗くて下草が生えていない森林



▲間伐がされており日光が入ること下草も生えている森林

天草の「木」の話

天草にはどんな木があって、どのような特徴があるのでしょうか。また、いま天草の森林に必要なことは何なのでしょう。天草地域森林組合の井手近志・森林整備部長に、話を聞きました。

約4割が人の手によって植えられた、人工林

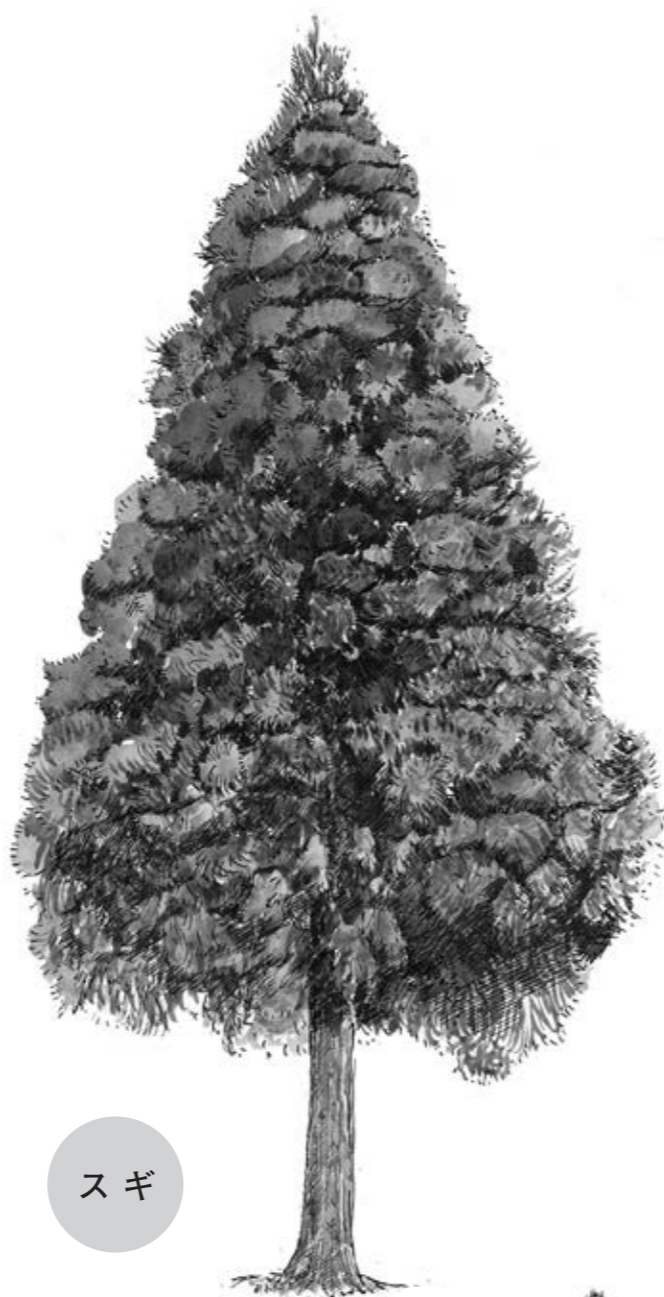
森林は、もともとあった天然林と、人の手によって植林された人工林があります。天草の森林は天然林が55%で、人工林は43%（残りは竹林など）。私たちが日ごろ目にしている森林の半分近くは、人の手によって植えられたものであるといえます。

に多くの木が伐採され、その跡地を復旧すること、そして戦後の復興で木材の需要が高くなり供給が追い付かなくなったことで、大造林という名のもとに天然林を伐採し、植林がなされたものです。

天草のヒノキ・スギ 生長は遅いが強度は高い

天草の人工林は、その7割がヒノキ、3割がスギですが、地力が低いため生長が遅いという特徴があります。

す。阿蘇・球磨地域では植えてから約40年で木材に利用できる大きさの木に育ちますが、天草では60年以上はかかるといわれています。ただ、天草のヒノキ・スギはそれだけ長い年月をかけてゆっくりと生長することから、年輪の幅（木目）が狭くなり、強度が高く良質な木材になることが期待されます。これが、天草産木材の最大の特徴です。



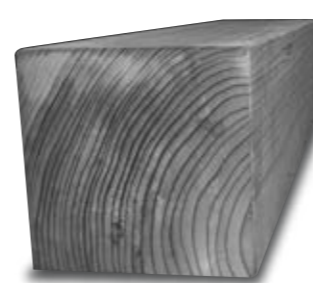
スギ

- 木材の特徴…ヒノキと比べてやわらかい。あたたかみがある。
- 主な用途…家の柱、壁板。
- 葉の特徴…短い針のような葉がらせん状について、にぎると痛い。

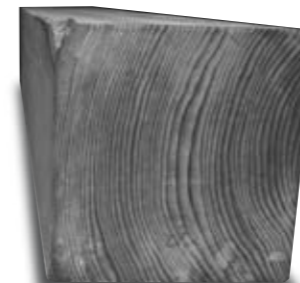


ヒノキ

- 木材の特徴…スギと比べて硬い。光沢がある。
- 主な用途…家の土台、床板。
- 葉の特徴…うろこのような形で、裏には白いY字の線がある。



▲天草地域外の木



▲天草の木

※天草の木は年輪の幅が狭く木目が詰まっています。

手入れが行き届いていない人工林。災害への影響も

木を健全に、そして良質な木材になるように育てていくためには、人による手入れが必要です。

ただ、安価な外国産の木材が多く使われるようになった結果、国産の木材価格が低迷するなどしてこの手入れが行き届かなくなっています。これは天草だけではなく、全国規模で問題になっていることです。

実は、森林の手入れが行

き届かないということは、単に良質な木材ができないといったレベルの話ではないんです。たとえば、手入れをしていない人工林。日光が入らず下草が生えないため、雨で表土が流れ出し、土壌がよりいっそう貧弱になります。このことで、土砂崩れや洪水などの災害が起きやすくなるんです。

つまり、森林の手入れをしないとすることは、森林の多面的機能を発揮する妨げになっているということなんです。

間伐が重要。

木への「気づかい」を

このような、人間に例えるならとても不健康な人工林を健康な状態に戻すことが、今、とても重要になっています。そのため、木が大きくなって込み合った林内環境を改善するため木を間引く「間伐」という手入れが必要です。

人工林をお持ちであれば、木への「気づかい」として、皆さんぜひ間伐をしていただければと思います。

森林の手入れに各種補助制度があります！

間伐など森林の手入れをする場合、各種補助制度があります。また、お持ちの森林の手入れを一括して森林組合に委託する制度もあります。詳細は、最寄りの天草地域森林組合へお尋ねください。



【問い合わせ先】天草地域森林組合 本所 ☎22646 / 上島支所 ☎562771 / 下島支所 ☎760017

天草地域森林組合
井手近志 森林整備部長

